



立憲民主党埼玉県第1区総支部長 元衆議院議員 **たけまさ公一**

立憲民主党は、3月31日(金)告示・4月9日(日)投開票の埼玉県議会議員選挙(南第9区/浦和区)において、野本れいこの公認を決定しました。ここ浦和から、まっとうな政治を一緒につくります!



立憲民主党 埼玉県政策委員 野本れいこ

いつでも再チャレンジできる社会をめざして

野本れいこ(のもとれいこ)プロフィール

1977年(昭和52年)9月、秩父出身の父と横浜出身の母との間に、横浜市で生まれる。香蘭女学校中学校・高等学校、早稲田大学政治経済学部卒業。母校の香蘭女学校勤務を経て、子育てに専念した後、民主改革さいたま市議団で政務調査員を6年半務める。新党さきがけを旗揚げした田中秀征先生主催NPO法人「民権塾」副理事長。衆議院議員 落合貴之 政策スタッフ。防災士(さいたま市消防団所属)、浦和稲門会。

- 趣味: 料理・ピアノ(ショパンが大好きです)
- 好きなもの: 桃、寿司
- 家族: 夫と一男二女(高3・高1・中2)
- 巳年・B型・天秤座。

消防団の一員として汗をかいています



毎朝、浦和区内での各駅で「ごあいさつ」しています。



大学時代はピアノサークル「ショパンの会」でスクリアビンにもチャレンジしました。

Interview 「原点」と「決意」

野本れいこの

いつも明るく笑う野本れいこが、埼玉県政で新しいチャレンジを始める「原点」とは何か、どんな想いで歩みを進め、どんな「決意」を胸に秘めているのか、心の内を聞きました。

— どんな子ども時代を過ごしましたか。

横浜生まれの横浜育ちです。母がピアノの先生をしていて、私も3歳ぐらいから本格的なレッスンを受けていました。母は私にピアニストになってほしかったんじゃないかな。でも、高校2年生の時に「日本音楽コンクール」に挑戦しようと、夏休みに音大の夏期講習なんかに行くと、いかに自分が井の中の蛙なのかって自覚をさせられて…。結局、音大に進む道は断念して、受験勉強に打ち込み、早稲田大学へ進学しました。高校では生徒会長も務めました。

— 大学時代に政治家を志したきっかけがあると聞きましたが…

専攻は政治学科でしたが、もともと歴史はまあ好きか

なといった程度で、必ずしも政治に興味があったわけではないんです。ただ、今、振り返ると、やっぱり学生時代の人との出会いが私を政治の世界に引き込むきっかけをつくってくれていて、ひとは当時参議院議員で千葉県知事も務めた堂本暁子さん。「女性の政治家がとにかく少ない。あなたたちも頑張るって欲しい」と激励され、そしてそのつながりで田中秀征先生に門下生として教を乞うことができました。

また、大学のゼミの関係で知己を得た前米沢市長の安部三十郎さんもそうです。2度の落選経験を経ながらも「市民の力」を結集して、3度目の正直で市長の座を



田中秀征先生とともに